

どい農の底力

～JAあきがわ青壮年部～



自然の力で

よねくら
米倉 孝臣 さん (51)

五日市支店管内。義父の営む山下養鶏所の後継者として、就農2年目で卵をJAあきがわ管内の直売所や生協に出荷。



―就農されたきっかけは何ですか？

結婚し同居はしていましたが、サラリーマンをしていました。父は私が後を継がないかと思っていたようですが、たくさんの方がうちの卵を買ってくれるのに父の代で終わりにしてしまうのは忍びない。自分が定年の時に父が元気でいてくれるか、自分に気力があるかと考えて就農しました。

―主なお仕事は、どのようなものですか？

土日の配達は私が担当しています。あとはエサづくりですね。卵の味は9割がエサの質で決まると言われています。栄養成分が調整済みの配合飼料もありますが、うちは約20種類の飼料を購入して季節によって配合を変えています。手間は増えますが、安心・安全を考えると他人には任せられません。化学物質を入れずに自然のものを与えると鶏も卵を食べる人間も健康を維持できると思っています。また、鶏を完全な屋内で育てる方法もありますが、うちは外気を取り込むようにしています。病気には細心の注意を払わなければなりません。自然の力で免疫力が高まり、鶏がたくましく育つと思っています。

―お仕事で苦労するのはどのようなことですか？

休みが無いことですね。本当なら一年中休みはありません。今は、父母が元気でいてくれるので、少し休みをもらっています。給餌の自動化や色々な工夫をして休日ができたとしても、生き物が相手なので心配が尽きません。自分の時間をつくって、しっかり休みを取っている養鶏家の先輩を見ると尊敬しますね。

―将来の課題や目標はありますか？

色々なものを整理整頓して働きやすい環境づくりをし、少ない労働力でまかなえるようにしたいですね。現状を改善しながらしっかりとした経営をして、初めて良いものづくりができると思っています。また、規格外のロスを減らすことが課題で、加工品等を作ればと考えています。将来的には、ブランド卵ができればいいですね。

―趣味などありますか？

今は仕事に興味ですが、食べ歩きや料理するのが好きですね。家族の時間がありませんが、妻には、子供と二人で楽しく出かけてきてもらえればと思っています。

真剣な表情で取材に答えてくれた米倉さん。これからもたくましい鶏を育てていってください。



エサをならしている 米倉さん